

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年10月28日から2020年10月22日までです。
運用方針	<p>成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、成長国の現地通貨建て国債に投資することもあります。</p> <p>成長国とは、新興国および資源国のことをいい、原則として以下の条件を満たす国を指します。</p> <p>新興国：IMFが新興国と定義する国かつ名目GDPが1,000億米ドル以上の国</p> <p>資源国：鉱物資源、エネルギー資源、食糧資源等を産出する国で、その資源がその国の経済成長に寄与すると考えられる国</p> <p>投資にあたっては、経済動向、金利水準および為替動向等を勘案して投資対象国および投資比率を決定します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

運用報告書（全体版）

成長国通貨・ 国際機関債オープン （愛称 世界にエール）

第61期（決算日 2015年11月24日） 第64期（決算日 2016年2月22日）
第62期（決算日 2015年12月22日） 第65期（決算日 2016年3月22日）
第63期（決算日 2016年1月22日） 第66期（決算日 2016年4月22日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「成長国通貨・国際機関債オープン（愛称 世界にエール）」は、2016年4月22日に第66期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第61期～第66期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債組入比率	債券 先物比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落			
	円		円	騰落	%	%	百万円
37期(2013年11月22日)	8,788		60		0.0	92.8	542
38期(2013年12月24日)	8,826		60		1.1	92.9	539
39期(2014年1月22日)	8,556		60		△2.4	92.5	517
40期(2014年2月24日)	8,449		60		△0.5	92.7	513
41期(2014年3月24日)	8,374		60		△0.2	93.8	528
42期(2014年4月22日)	8,667		60		4.2	93.4	540
43期(2014年5月22日)	8,669		60		0.7	93.4	519
44期(2014年6月23日)	8,615		60		0.1	94.7	486
45期(2014年7月22日)	8,626		60		0.8	94.4	475
46期(2014年8月22日)	8,656		60		1.0	93.6	472
47期(2014年9月22日)	8,803		60		2.4	85.8	476
48期(2014年10月22日)	8,510		60		△2.6	94.1	462
49期(2014年11月25日)	9,286		60		9.8	93.1	490
50期(2014年12月22日)	8,883		60		△3.7	92.0	451
51期(2015年1月22日)	8,810		60		△0.1	91.3	446
52期(2015年2月23日)	8,523		60		△2.6	91.3	431
53期(2015年3月23日)	8,267		60		△2.3	92.0	415
54期(2015年4月22日)	8,107		60		△1.2	93.3	397
55期(2015年5月22日)	8,275		60		2.8	95.3	404
56期(2015年6月22日)	8,128		60		△1.1	95.4	395
57期(2015年7月22日)	8,046		60		△0.3	95.0	389
58期(2015年8月24日)	7,318		60		△8.3	94.3	351
59期(2015年9月24日)	6,825		60		△5.9	94.0	325
60期(2015年10月22日)	7,112		60		5.1	92.5	346
61期(2015年11月24日)	7,302		60		3.5	92.9	354
62期(2015年12月22日)	6,953		60		△4.0	91.7	337
63期(2016年1月22日)	6,422		60		△6.8	90.6	311
64期(2016年2月22日)	6,338		60		△0.4	91.1	307
65期(2016年3月22日)	6,565		60		4.5	93.0	318
66期(2016年4月22日)	6,520		60		0.2	92.4	315

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 当ファンドは成長国通貨建て国際機関債を主要な投資対象としており、パフォーマンスを比較するのに適切な指数がありません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

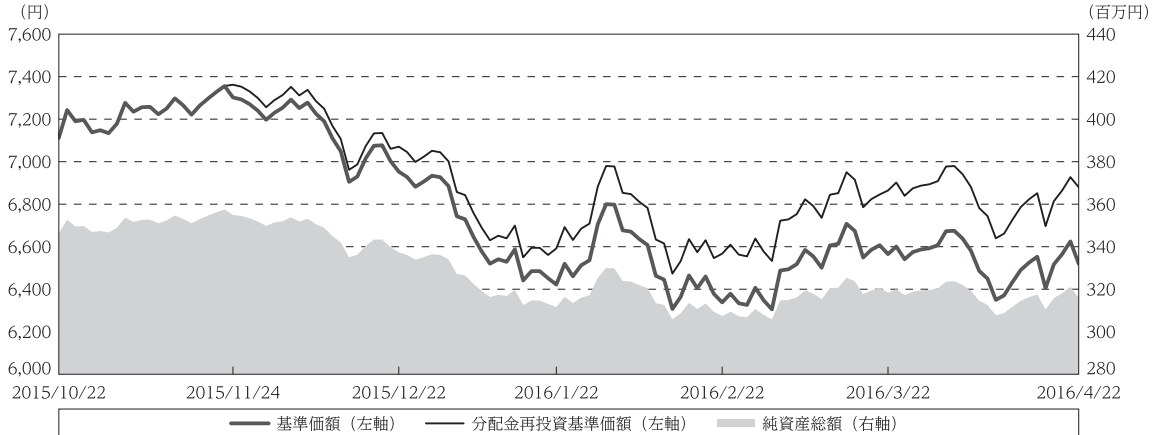
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			円	%		
第61期	(期 首) 2015年10月22日	7,112	—	—	92.5	—
	10月末	7,134	0.3	—	92.5	—
	(期 末) 2015年11月24日	7,362	3.5	—	92.9	—
第62期	(期 首) 2015年11月24日	7,302	—	—	92.9	—
	11月末	7,197	△1.4	—	92.7	—
	(期 末) 2015年12月22日	7,013	△4.0	—	91.7	—
第63期	(期 首) 2015年12月22日	6,953	—	—	91.7	—
	12月末	6,927	△0.4	—	91.5	—
	(期 末) 2016年1月22日	6,482	△6.8	—	90.6	—
第64期	(期 首) 2016年1月22日	6,422	—	—	90.6	—
	1月末	6,706	4.4	—	90.6	—
	(期 末) 2016年2月22日	6,398	△0.4	—	91.1	—
第65期	(期 首) 2016年2月22日	6,338	—	—	91.1	—
	2月末	6,348	0.2	—	91.0	—
	(期 末) 2016年3月22日	6,625	4.5	—	93.0	—
第66期	(期 首) 2016年3月22日	6,565	—	—	93.0	—
	3月末	6,673	1.6	—	92.9	—
	(期 末) 2016年4月22日	6,580	0.2	—	92.4	—

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年10月23日～2016年4月22日）



第61期首：7,112円

第66期末：6,520円（既払分配金（税引前）：360円）

騰落率：△ 3.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年10月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入が、プラスに寄与しました。
- ・保有債券の利回り低下による価格上昇が、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・投資対象とした成長国通貨の対円での下落が、マイナスに作用しました。

投資環境

(2015年10月23日～2016年4月22日)

投資対象とした成長国通貨建て債券市場は、総じて利回りが低下しました。2015年12月にかけては、米国の利上げに向けて商品市況が下落基調となり、新興国経済への懸念が強まったことから、投資資金の流出が優勢な展開となりました。しかし、その後は、日・欧の強力な金融緩和を受けて主要国の金利低下が進行する中、高利回りを求める投資資金の流入が強まり、利回りが低下しました。

為替市場は、全般に成長国通貨が対円で下落しました。2016年2月にかけては、原油価格の下落等を背景に、市場参加者のリスク警戒感が高まり、成長国通貨への売り圧力が強まりました。ただ、その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）での政策金利見通しの引き下げ等を受けて、米国の追加利上げ観測が後退し、対米ドルで成長国通貨を買い戻す動きが強まったことから、対円でも底堅い動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年10月23日～2016年4月22日)

債券組入比率は概ね高位を維持しました。

新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、オーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債をポートフォリオに組み入れました。通貨配分は、市場環境、各国のファンダメンタルズ、金利水準等を勘案して調整を図りました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年10月23日～2016年4月22日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

(2015年10月23日～2016年4月22日)

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間におきましては、分配可能額を勘案し、毎期1万口当たり60円（税引前）、合計で360円（税引前）の分配を行いました。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日	2015年12月23日～ 2016年1月22日	2016年1月23日～ 2016年2月22日	2016年2月23日～ 2016年3月22日	2016年3月23日～ 2016年4月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.815%	60 0.856%	60 0.926%	60 0.938%	60 0.906%	60 0.912%
当期の収益	54	38	38	37	48	40
当期の収益以外	5	21	21	22	11	19
翌期繰越分配対象額	477	455	434	412	401	381

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資対象とした成長国通貨建て債券市場は、全般に利回りが低下する展開となることを予想します。引き続き投資家の高利回り選好の動きから、市場への投資資金の流入が継続し、利回りの低下が促されると見込んでいます。ただ、日・欧でマイナス金利が拡大するなど、主要国の国債市場ではやや過熱感が見られていることもあり、一時的に国債価格が急落（利回りが急上昇）する可能性もあると思われます。このため、市場のボラティリティ（変動率）の高まりが警戒されて、投資家の高利回り志向が減退するリスクには、留意が必要とも考えています。

為替市場は、成長国通貨が対円で底堅い動きとなることを予想します。各国の株価や商品市況が戻り歩調となる中、市場参加者のリスク志向が続き、成長国通貨の買いが優勢となることを見込んでいます。ただ、足元の金融市場の安定が、米連邦準備制度理事会（FRB）の追加利上げの可能性を高めることも考えられるため、米国の金利上昇等を受けて新興国市場からの資金流出を警戒する動きが強まり、成長国通貨の上値が重くなる場面もあると見ています。

このような状況下、ファンドの運用においては、新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、当面はオーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債に分散投資する方針です。ただし、各国の信用リスク、金利水準、ファンダメンタルズ、及び通貨や債券の流動性等を勘案し、状況に応じて投資対象国の追加や変更を検討します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月23日～2016年 4月22日)

項 目	第61期～第66期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.270)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.020	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	43	0.641	
作成期間中の平均基準価額は、6,830円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月23日～2016年4月22日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

公社債

			第61期～第66期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 551
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル —	千ブラジルリアル 147
	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア 1,544,000	千インドネシアルピア — (1,000,000)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 503

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月23日～2016年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年4月22日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第66期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 9,000	千メキシコペソ 9,867	千円 61,968	% 19.6	% —	% —	% 19.6	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 1,100	千ブラジルレアル 1,110	34,418	10.9	—	—	—	10.9
トルコ	千トルコリラ 1,800	千トルコリラ 1,867	72,181	22.8	—	—	—	22.8
オーストラリア	千オーストラリアドル 400	千オーストラリアドル 451	38,437	12.2	—	—	12.2	—
インドネシア	千インドネシアルピア 6,000,000	千インドネシアルピア 6,018,225	50,553	16.0	—	—	13.3	2.7
南アフリカ	千南アフリカランド 4,500	千南アフリカランド 4,505	34,468	10.9	—	—	—	10.9
合 計	—	—	292,027	92.4	—	—	45.1	47.3

(注) 邦貨換算金額は、第66期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、第66期末のファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) B B格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第66期末					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 7.5	7.5	9,000	9,867	61,968	2020/3/5
小計					61,968	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 11	11.0	1,000	1,008	31,276	2018/1/29
	INTL FIN CORP 10.5	10.5	100	101	3,142	2018/4/17
小計					34,418	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 13.625	13.625	1,800	1,867	72,181	2017/5/9
小計					72,181	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BANK 6.25	6.25	400	451	38,437	2020/3/5
小計					38,437	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
特殊債券 (除く金融債)	EURO BK RECON&DV 7.2	7.2	1,000,000	999,330	8,394	2016/6/8
	EURO BK RECON&DV 7.375	7.375	3,500,000	3,458,385	29,050	2019/4/15
	INTERAMER DEV BK 9.5	9.5	1,500,000	1,560,510	13,108	2019/4/15
小計					50,553	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 8.75	8.75	4,500	4,505	34,468	2017/3/1
小計					34,468	
合計					292,027	

(注) 邦貨換算金額は、第66期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年4月22日現在)

項目	第66期末	
	評価額	比率
公社債	千円 292,027	% 91.5
コール・ローン等、その他	27,215	8.5
投資信託財産総額	319,242	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 第66期末における外貨建純資産(304,067千円)の投資信託財産総額(319,242千円)に対する比率は95.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第66期末における邦貨換算レートは、1メキシコペソ=6.28円、1ブラジルレアル=31.00円、1トルコリラ=38.66円、1オーストラリアドル=85.06円、1インドネシアルピア=0.0084円、1南アフリカランド=7.65円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
	2015年11月24日現在	2015年12月22日現在	2016年1月22日現在	2016年2月22日現在	2016年3月22日現在	2016年4月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	358,224,626	340,603,843	314,870,992	310,659,536	321,633,952	319,242,160
コール・ローン等	10,125,831	11,915,058	12,454,387	12,300,524	12,732,495	14,866,021
公社債(評価額)	329,627,540	309,217,992	282,441,391	280,081,112	295,964,580	292,027,969
未収利息	16,895,927	18,046,343	18,653,484	16,922,896	12,448,410	11,966,971
前払費用	1,383,061	1,205,074	1,079,943	1,090,174	201,202	72,539
その他未収収益	192,267	219,376	241,787	264,830	287,265	308,660
(B) 負債	3,314,285	3,244,901	3,258,285	3,246,099	3,224,178	3,245,783
未払収益分配金	2,916,073	2,911,308	2,911,428	2,910,147	2,910,174	2,907,873
未払信託報酬	394,109	330,157	343,283	332,493	310,771	334,393
未払利息	—	—	—	—	—	31
その他未払費用	4,103	3,436	3,574	3,459	3,233	3,486
(C) 純資産総額(A-B)	354,910,341	337,358,942	311,612,707	307,413,437	318,409,774	315,996,377
元本	486,012,332	485,218,042	485,238,109	485,024,615	485,029,124	484,645,659
次期繰越損益金	△131,101,991	△147,859,100	△173,625,402	△177,611,178	△166,619,350	△168,649,282
(D) 受益権総口数	486,012,332口	485,218,042口	485,238,109口	485,024,615口	485,029,124口	484,645,659口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,302円	6,953円	6,422円	6,338円	6,565円	6,520円

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は、第61期0.7302円、第62期0.6953円、第63期0.6422円、第64期0.6338円、第65期0.6565円、第66期0.6520円です。
- (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第61期131,101,991円、第62期147,859,100円、第63期173,625,402円、第64期177,611,178円、第65期166,619,350円、第66期168,649,282円です。
- (注) 当ファンドの第61期首元本額は487,006,592円、第61～66期中追加設定元本額は213,200円、第61～66期中一部解約元本額は2,574,133円です。

○損益の状況

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日	2015年12月23日～ 2016年1月22日	2016年1月23日～ 2016年2月22日	2016年2月23日～ 2016年3月22日	2016年3月23日～ 2016年4月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,734,642	2,214,399	2,240,914	2,178,829	2,418,448	2,286,070
受取利息	2,712,699	2,188,089	2,218,503	2,156,085	2,396,016	2,265,551
その他収益金	21,943	26,310	22,411	22,744	22,432	20,664
支払利息	—	—	—	—	—	△ 145
(B) 有価証券売買損益	9,841,863	△ 15,941,332	△ 24,740,002	△ 2,992,296	11,811,823	△ 1,194,895
売買益	12,318,983	982,205	1,123,216	2,444,738	12,241,278	3,260,974
売買損	△ 2,477,120	△ 16,923,537	△ 25,863,218	△ 5,437,034	△ 429,455	△ 4,455,869
(C) 信託報酬等	△ 416,605	△ 333,593	△ 349,574	△ 338,564	△ 326,656	△ 347,006
(D) 当期損益金 (A+B+C)	12,159,900	△ 14,060,526	△ 22,848,662	△ 1,152,031	13,903,615	744,169
(E) 前期繰越損益金	△ 136,640,692	△ 127,186,664	△ 144,158,498	△ 169,841,473	△ 173,902,935	△ 162,723,863
(F) 追加信託差損益金	△ 3,705,126	△ 3,700,602	△ 3,706,814	△ 3,707,527	△ 3,709,856	△ 3,761,715
(配当等相当額)	(15,442,113)	(15,416,971)	(15,417,893)	(15,411,192)	(15,411,403)	(15,400,857)
(売買損益相当額)	(△ 19,147,239)	(△ 19,117,573)	(△ 19,124,707)	(△ 19,118,719)	(△ 19,121,259)	(△ 19,162,572)
(G) 計 (D+E+F)	△ 128,185,918	△ 144,947,792	△ 170,713,974	△ 174,701,031	△ 163,709,176	△ 165,741,409
(H) 収益分配金	△ 2,916,073	△ 2,911,308	△ 2,911,428	△ 2,910,147	△ 2,910,174	△ 2,907,873
次期繰越損益金 (G+H)	△ 131,101,991	△ 147,859,100	△ 173,625,402	△ 177,611,178	△ 166,619,350	△ 168,649,282
追加信託差損益金	△ 3,705,126	△ 3,700,602	△ 3,706,814	△ 3,707,527	△ 3,709,856	△ 3,761,715
(配当等相当額)	(15,442,113)	(15,416,971)	(15,417,893)	(15,411,192)	(15,411,403)	(15,400,857)
(売買損益相当額)	(△ 19,147,239)	(△ 19,117,573)	(△ 19,124,707)	(△ 19,118,719)	(△ 19,121,259)	(△ 19,162,572)
分配準備積立金	7,742,746	6,700,007	5,679,919	4,607,497	4,060,220	3,087,058
繰越損益金	△ 135,139,611	△ 150,858,505	△ 175,598,507	△ 178,511,148	△ 166,969,714	△ 167,974,625

(注) 損益の状況の中で、(B) 有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,644,072円	1,880,806円	1,891,340円	1,840,265円	2,362,916円	1,939,064円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	15,442,113円	15,416,971円	15,417,893円	15,411,192円	15,411,403円	15,400,857円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	8,014,747円	7,730,509円	6,700,007円	5,677,379円	4,607,478円	4,055,867円
分配対象収益(a+b+c+d)	26,100,932円	25,028,286円	24,009,240円	22,928,836円	22,381,797円	21,395,788円
分配対象収益(1万口当たり)	537円	515円	494円	472円	461円	441円
分配金額	2,916,073円	2,911,308円	2,911,428円	2,910,147円	2,910,174円	2,907,873円
分配金額(1万口当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
1 万口当たり分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

〈お知らせ〉

金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。（実施日：2016年1月20日）